

研究結果報告書（概要）

研究課題名：睡眠薬等使用患者における死亡にいたる因子に関する研究
～高齢者の検討を含めて～
主たる研究者（所属部署）：山中隆夫（新薬審査第四部）

【目的】

本研究の目的は、睡眠薬の作用機序別の安全性の情報を 80 歳以上の高齢者と 80 歳未満の患者に対するものを比較検討することである。

【研究方法】

2003 年から 2020 年に PMDA に報告された副作用・感染症報告を対象に、睡眠薬の服用中の死亡を調査した。

【結果・考察】

高齢者に特徴的な傾向は認められなかった。

【結論】

高齢者での安全性を保障するとまでは言えず、結果の解釈については検討を要する。